

# News Release

令和2年1月14日

## 「平原和朗地震学講座Ⅱ～自治体職員向け地震学のすすめ～」を 小豆島で開催します。

この度、本学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構は、平原和朗客員教授を講師として、自治体職員向けの地震学講座を小豆島で初めて開催します。（共催：土庄町、小豆島町）

今後30年以内の南海トラフ巨大地震の発生確率が70～80%と高まっている中、防災担当職員に限らず、一般・消防職員等にも地震に対する基礎知識を身につけてもらい、来る大規模災害への対策や施策に反映してもらうことを目的として開催するものです。本講座は、下記のとおり全3回6講義により実施します。

### 記

1. 日 程 第1回：令和2年1月22日（水）  
第2回：令和2年2月6日（木）  
第3回：令和2年2月19日（水）
2. 時 間 午前の部：10:30～12:00 / 午後の部：13:00～14:30（各回共通）
3. 会 場 小豆地区消防本部3階 大会議室（1/22, 2/6）  
小豆島町役場本館3階 大会議室（2/19）

※ 平原客員教授の略歴、講義スケジュールについては、別添資料をご参照ください。  
※ 1/22・2/6の講義と、2/19の講義は会場が異なります。

#### ➤ お問い合わせ先

##### ◆香川大学

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構  
地域強靱化研究センター  
副センター長 藤澤  
TEL：087-832-1651  
E-mail：fujisawa@cc.kagawa-u.ac.jp

##### ◆土庄町

総務課 三枝  
TEL：0879-62-7000

##### ◆小豆島町

総務課 谷口  
TEL：0879-82-7001

# 平原和朗地震学講座Ⅱ

～自治体職員向け地震学のすすめ～

- 日程 ➤ 令和2年 **1/22** (水), **2/6** (木), **2/19** (水)
- 時間 ➤ 午前の部: 10:30～12:00  
午後の部: 13:00～14:30
- 会場 ➤ ①小豆地区消防本部3階大会議室(1月22日、2月6日)  
②小豆島町役場本館3階大会議室(2月19日)

今後30年以内の南海トラフ巨大地震の発生確率が70～80%と高まっている中、防災担当職員に限らず、一般・消防職員等も地震に対する基礎知識を身につけてもらい、大規模災害に対する対策や施策に反映してもらうことを目的として、香川大学の平原和朗客員教授による地震学講座を開講します。

本講義では、地震学についてより理解を深めてもらうために広く自治体職員を対象に、意見交換を行いながら楽しく進めてまいります。

講師：平原 和朗 先生

(香川大学客員教授、京都大学名誉教授)



【第1回】 1月22日 (水)	【午前の部】 10:30-12:00	地震の仕組みと現象
	【午後の部】 13:00-14:30	・地震の調査・観測 ・地震調査研究の成果を防災に活かすために
【第2回】 2月6日 (木)	【午前の部】 10:30-12:00	日本の地震活動 中国・四国地域 香川県
	【午後の部】 13:00-14:30	・四国地域の活断層の長期評価 ・四国地域の活断層の地域評価
【第3回】 2月19日 (水)	【午前の部】 10:30-12:00	南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)について
	【午後の部】 13:00-14:30	南海トラフ巨大地震を巡る中央防災会議の動き

#### 【講師プロフィール】

昭和50年 3月 京都大学理学部卒業  
56年 3月 京都大学大学院博士後期課程修了  
56年 3月 京都大学理学博士  
56年 4月 日本学術振興会奨励研究員  
57年 4月 京都産業大学理学部非常勤講師  
58年 6月 京都大学防災研究所助手  
平成17年 4月 京都大学大学院理学研究科教授(～平成30年3月)  
30年 3月 京都大学名誉教授  
30年 4月 香川大学客員教授、国立研究開発法人理化学研究所 非常勤研究員(現在に至る)

#### (学会・委員活動等)

平成20年 4月 日本地震学会会長(～平成24年3月)  
20年11月 アジア地震学会会長(～平成24年9月)  
24年12月 地震予知連絡会会長(～平成31年4月)  
25年 8月 地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会会長  
28年 9月 南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキング委員(～平成29年9月)

※1回のみ、あるいは午前／午後のみ参加も可能です。

定員50名  
程度